

はじめに 働き方を哲学する 2

01 働く環境は激変しつつある

激変する社会 14

働き方を問うべきもう1つの理由 26

なぜ働き方を哲学するのか? 32

OGAWA'S POINT 36

02 働き方のヒントにしたい労働論

「働くこと」の時代による変化 38

マルクス 生きがいとして働く 40

ヘーゲル 誇りのために働く 44

ホッファー 自分のために働く 49

アーレント 社会のために働く 57

二宮尊徳 日本の労働哲学 62

小川仁志 日常の営みの1つとして働く 66

OGAWA'S POINT 72

03 これからの働き方を哲学する

働くとはどういうことか? 74

なぜ人は働きたいのか? 80

働く理由としての成長 85

仕事を楽しめる幸せ 89

なぜ人は働きすぎるのか？	93
遊ぶことと働くことの違い	95
人生100年時代の仕事とキャリア	102
やりがい・適性・転職についての誤解	113
シウカツをどうすべきか	120
人間関係がすべて!?	123
給料・休暇・残業改革	129
仕事のやり方改革 デザイン思考へ	142
生産性改革	148
反常識の労働スキル	151
ベーシックインカムを導入	157
結局、働くとはどういうことか？	160
OGAWA'S POINT	162

04 価値ある人間になるためのトレーニング

Aー社会に備えるトレーニング	164
人生100年時代に備えるトレーニング	174
少子高齢化に備えるトレーニング	183
グローバル社会に備えるトレーニング	190
対成熟社会のトレーニング	199

OGAWA'S POINT

208

05 幸福論 3・0―激変する社会の中で輝いて！

「ハタラク」から「ジタラク」へ	210
モチベーションをもっと重視する	216

01

働く環境は激変しつつある

人間臭く働き、人間臭く生きる 222

唯一無二の人間になる 225

幸福論3・0 230

OGAWA'S POINT 236

おわりに 237